

No.1

## 環境学習プログラムのテーマ

落ち葉遊び

## 内 容

落ち葉で遊びながら、植物の多様性を学ぶ。

いろいろな落ち葉を使って、お面作りや、貼り絵など、自分で新しい遊びを考える。

## 対 象

年少～年長児

## 実施場所

教室等

## 所要時間

30～40分  
実施時期 11～12月

## ご準備いただくもの

落ち葉を入れるビニールプールなど

## 主となるグループ名

## 代表者名

福田 秀雄

No.2

## 環境学習プログラムのテーマ

田んぼの生き物探し

### 内 容

ゲームを通して、生物多様性と、自然と調和した利用について学ぶ。

10種類の紙の魚・昆虫を池を模したシートに入れ、決められた種類の生き物を探す。全部取って池が空になると生態系の維持ができなくなることを説明して、来年も生き物が住めるように、それぞれ1匹だけ残してあとは池に返す、田んぼの生態系を守ることを伝える。

紙芝居「たんぼとトンボとなかまたち」

| 対 象       | 実施場所 | 所要時間  |
|-----------|------|-------|
| 年少～年長児    | 教室等  | 60分   |
| ご準備いただくもの |      |       |
| なし        |      |       |
| 主となるグループ名 |      | 代表者名  |
|           |      | 福田 秀雄 |

## No.3

### 環境学習プログラムのテーマ

チリモン探し

#### 内 容

ちりめんじゃこの中から、カニ、エビ、タツノオトシゴなどを探し、生態系について学ぶ。

採れたての「じゃこ」の中には、いろいろな生き物が混じっていて、「ちりめんじゃこ」として販売するために、カタクチイワシの稚魚だけに選り分けている。チリモン探しは、仕分け前の「じゃこ」の中にある生き物を見つけ、観察する。

森の木から川に流れ出した栄養で小さな生き物が育ち、それを餌にしたイワシ・サバ・それを食べるマグロなど、海の生態系を守ること、陸の森と海はつながって、一つの生態系を作っていること、生物多様性などを学ぶ。

#### 対 象

年少児～小学校低学年

#### 実施場所

教室等

#### 所要時間

40分

#### ご準備いただくもの

A4用紙

#### 主となるグループ名

#### 代表者名

福田 秀雄

No.4

## 環境学習プログラムのテーマ

菜の花栽培

### 内 容

- ・休耕地に活用した菜の花栽培を通して、いきものつながりの大切さを学ぶ。
- ・地域における環境活動の推進。
- ・9月から4月頃まで(月1~2回作業)。
- ・菜の花栽培(苗を植える、草取り、菜の花摘みなど)。
- ・菜の花を使って調理をする(パンケーキづくり他)。

※菜の花を栽培していることが条件です。

### 対 象

年少児~一般

### 実施場所

市内の休耕地等

### 所要時間

60分(年4回)

### ご準備いただくもの

畑、作業を手伝える人、実費の負担(詳細は別途要相談)

### 主となるグループ名

エコライフクラブ

### 代表者名

栗本 明美

No.5

## 環境学習プログラムのテーマ

外遊び畑遊びから五感で感じる、自然の大切さ！

## 内 容

江南市のフィットネストレーナーとして、遊びから自然とのつながり、大切さを感じてほしい。  
また、運動や野菜が好きになることを狙う。

## 対 象

年少児～一般

## 実施場所

市内の運動場または公園等

## 所要時間

30～45分程度

## ご準備いただくもの

なし

## 主となるグループ名

健康支援 ローズ・リボン

## 代表者名

鈴木 浩樹

No.6

## 環境学習プログラムのテーマ

みんなで「おかいこさん」の飼育と「まゆづくり」を体験しよう！

## 内 容

- ・地球温暖化や放射線による大気汚染は、生き物に対する環境がますます悪化し、ましてや小さな生き物「おかいこさん」にとって持続可能な種の保存には私達人間は大きな責任があるところであるため、私達は、小さな生き物「おかいこさん」が地球温暖化や放射線による大気汚染の悪い環境下で、どのような影響を生存に与えられているのかを学ぶ。
- ・小さな生き物「おかいこさん」を飼育体験しながら、私達の住んでいる町の環境を身を感じながら環境保全と小さな生き物「おかいこさん」のシルクの肌触りを楽しみ、日本の国を背負ってきた養蚕の成り立ちを地域の皆さんと一緒に学ぶとともに知ることで人と人の絆をつくる。

## 対 象

年少児～一般

## 実施場所

市内の施設等

## 所要時間

120分程度(随時対応)

## ご準備いただくもの

パソコン、プロジェクター、スクリーン、資料コピー等(詳細は別途要相談)

## 主となるグループ名

NPO法人 まゆを育てる会

## 代表者名

藤田 泰雄

No.7

## 環境学習プログラムのテーマ

地産地消でCO2削減とヒートアイランド防止

## 内 容

将来の日本を担う子供達を主にした体験型の講座で、地域で生産される食材は育成・生産過程が身近に確かめやすく新鮮食材が消費でき、地域に伝わる食文化の再発見と伝承という大切な啓発活動が生産者と消費者との人との繋がりを育て、食べ物を大切に作る心の育成にもつながると同時に遠くから搬入される食べ物の輸送に係るエネルギーの節約でCO2削減に、環境に優しい取り組みと考えられ、まずは子供達と一緒に作物を育て・収穫・食べる楽しい活動により、「青い地球を次の世代につなぐまち」をそだて地域の活性化を目指す。

## 対 象

年少児～一般

## 実施場所

市内の施設等

## 所要時間

180分程度(随時対応)

## ご準備いただくもの

農機具・苗・肥料等(詳細は別途要相談)

## 主となるグループ名

愛知県地球温暖化防止活動推進委員

## 代表者名

藤田 泰雄

No.8

## 環境学習プログラムのテーマ

廃材活用「コーヒーかすで 消臭剤づくり」

## 内 容

捨ててしまうコーヒーかすを活用して、消臭剤をつくる。

コーヒーかすを利用した消臭剤づくりと、SDGsに関する講義を行う。  
ごみの減量に繋げるとともに、アップサイクルして生活の中で使用してもらうことで、SDGsへの意識を高める。

## 対 象

年少児～一般

## 実施場所

教室など

## 所要時間

30分～40分

## ご準備いただくもの

空きビン、塩(あれば)、材料費300円程度

## 主となるグループ名

Little good

## 代表者名

谷口 郁子

No.9

## 環境学習プログラムのテーマ

広告ビーズで作るブレスレット

## 内 容

捨てられてしまう広告・新聞紙などの再利用を通じて、エコやSDGsを身近に感じる。  
広告・新聞紙を巻いて作ったビーズでブレスレットなどのアクセサリを作る。

## 対 象

年少児～一般

## 実施場所

教室など

## 所要時間

ビーズから作成 90分  
作成済みを使用 30分

## ご準備いただくもの

スティックのり、テグスゴム(要相談)、はさみ

## 主となるグループ名

## 代表者名

川口 洋子

No.10

## 環境学習プログラムのテーマ

園内の小さな生き物(ダンゴムシ)観察

## 内 容

落ち葉を土に変えていくダンゴムシの生態を観察する。

【実施期間 4月から7月】

- ①紙芝居をみて、ダンゴムシの生態を学ぶ
- ②ダンゴムシを探し、虫メガネで触角、脚等を観察
- ③ダンゴムシの動きを迷路で観察
- ④ダンゴムシレースやダンゴムシの唄をみんなで歌う

## 対 象

年長・年中児

## 実施場所

園内

## 所要時間

60分強

## ご準備いただくもの

なし

## 主となるグループ名

えこすく(ecology school)

## 代表者名

鈴木 文隆

No.11①

## 環境学習プログラムのテーマ

生活から学ぼう！みんなのSDGs（①たべもの編）

## 内 容

寸劇や歌、話を通じて、毎日の生活の中でしていることが、世界や地球とつながっていることに気づき、SDGsの視点を感じてもらう。

〈寸劇〉『すくたろうのばんごはん』（15分）  
5歳のすくたろう、もったいないばあさん、食べ残し大魔王、お父さんのやり取りの一幕

〈お話〉『たべものはどこからくるの？』『たべのこしはどこへいくの？』（15分）  
紙芝居またはスライドを使った、問いかけを中心としたお話

〈歌〉『ぱくぱくごっくん』（10分）  
劇のテーマ曲をみんなでうたう

## 対 象

年中・年長、小学1年生  
（できるだけ年齢別に  
開催できると助かります。）

## 実施場所

教室等

## 所要時間

45分

## ご準備いただくもの

スクリーン（紙芝居の場合は不要）  
事前にテーマ曲「ぱくぱくごっくん」CDと歌詞をお貸しします。

## 主となるグループ名

えこすく(ecology school)

## 講師

宮澤 恵子

## No.11②

### 環境学習プログラムのテーマ

生活から学ぼう！みんなのSDGs（②海のごみ編）

#### 内 容

寸劇や歌、話を通じて、毎日の生活の中でしていることが、世界や地球とつながっていることに気づき、SDGsの視点を感じてもらう。

〈寸劇〉『海の中の学校』（15分）

海の生き物たちが通う小学校の、朝の一場面。

アンコウ先生と子どもたちの会話で進んでいく。

イラストや実物を使いながら、海に流れて来るプラスチックを紹介し、生き物や自然・人

間に及ぼす影響についてわかりやすく話題にしていく。

授業が進むにしたがって、人間の生活スタイルがたくさんのごみを生み出し、海の汚染に

つながっている様子が明らかに・・・

最後は、人間に海の生き物たちの声を届けたい、という思いを歌にのせて発信する。

〈紙芝居〉『ごみはどうしてやってくるの？』（10分）

〈ワーク〉『ごみの分別体験ごっこ』（15分）

ペットボトル・トレー・廃プラスチックごみ・包装容器・缶・紙類・牛乳パック

#### 対 象

年中・年長、小学1年生  
（できるだけ年齢別に  
開催できると助かります。）

#### 実施場所

教室等

#### 所要時間

45分

#### ご準備いただくもの

ついたて1、机2、椅子3

事前にテーマ曲「海のごみレンジャー」のCDと歌詞をお貸しします。

#### 主となるグループ名

エコすく(ecology school)

#### 講師

宮澤 恵子

No.12

## 環境学習プログラムのテーマ

紙しばいで楽しみながらエコ学習

### 内 容

紙しばいなどを通して、楽しみながらエコ意識を高めます。

**【紙しばい】(30分)**

紙しばいでクイズを出しながら、楽しく身の周りの環境問題に気づいてもらい、地球温暖化対策のためのエコチャレンジなど自分のできることを学びます。その後、エコ作品の紹介をします。

**【エコ作品をつくろう】(30分)**

紹介したエコ作品をつくることができます。

※工作を希望される際には、申請書にその旨をご記載ください。

| 対 象      | 実施場所    | 所要時間             |
|----------|---------|------------------|
| 年長～小学3年生 | 教室などの室内 | 30分(工作をする場合は60分) |

### ご準備いただくもの

工作を希望する場合は、工作材料(エコキャップなど)

| 主となるグループ名 | 代表者名  |
|-----------|-------|
|           | 橋本 禎枝 |

No.13

## 環境学習プログラムのテーマ

ヌマエビを飼育しよう！

## 内 容

・本や映像ではなく、実際に生き物を飼育し、その体験を通して、自然に対する興味を深める。

体験学習の内容：簡単な人と生き物の関わりの話。  
ヌマエビ・水草の配布。  
ヌマエビの飼育方法、特徴の説明。

## 対 象

年長児～小学4年生程度

## 実施場所

保育室・教室等

## 所要時間

45分

## ご準備いただくもの

水道水を八分目まで入れた500mlのペットボトルを人数分（水は一時間以上前に入れる）、  
ブルーシート1枚、バケツ2個、ぞうきん、黒板またはホワイトボード

## 主となるグループ名

NPO法人 トンボと水辺環境研究所

## 代表者名

川口 邦彦

No.14

## 環境学習プログラムのテーマ

エコ工作にチャレンジ！

### 内 容

身近な材料を使ったエコ工作を通して、つくる楽しさを感じながら、物を大切にすることや環境への関心を育む。

【かみしばい】 15分  
「ごみはどうなるの？」

【工作】 20分～  
牛乳パックとエコキャップを使って工作(カスタネット)  
※上記の工作は例です。使いたい素材や年齢によってご相談ください。

【演奏】 5分  
作った楽器を使って演奏

| 対 象    | 実施場所        | 所要時間  |
|--------|-------------|-------|
| 年中・年長児 | 教室・遊戯室・公民館等 | 40分程度 |

### ご準備いただくもの

マジックペン・ハサミ・セロテープ・机に敷く汚れ防止の新聞紙やシートなど

| 主となるグループ名            | 代表者名  |
|----------------------|-------|
| えこすく(ecology school) | 宮澤 恵子 |

No.15

## 環境学習プログラムのテーマ

あいちの伝統野菜を体感してみよう！  
～ネギパンづくり～

## 内 容

- ・食から生物多様性の恵みやいのちをいただくことを考えながら料理し、生物多様性クッキングを体感する。
- ・伝統野菜、越津ねぎを使ってネギパンを作る。  
(ねぎの旬は、11月から2月まで)

## 対 象

小学生～一般  
(20名程度)

## 実施場所

公共施設などの調理室

## 所要時間

60分程度(随時対応)

## ご準備いただくもの

材料費は実費負担(詳細は別途要相談)

## 主となるグループ名

エコライフクラブ

## 代表者名

栗本 明美

No.16

## 環境学習プログラムのテーマ

牛乳パックで遊ぼう♪

### 内 容

- ・牛乳パックの再利用、おもちゃ作り
- ・牛乳パックで手裏剣、風船、コマなどを作って、楽しくリサイクルを学ぶ

### 対 象

年少児～一般

### 実施場所

教室・遊戯室・公民館等

### 所要時間

60分程度

### ご準備いただくもの

牛乳パック、テープ、はさみ、油性マジック、(ペットボトルキャップ、輪ゴム、養生テープ)

### 主となるグループ名

### 代表者名

伊藤 真弓

No.17

## 環境学習プログラムのテーマ

ワークで学ぼう！ストップ地球温暖化(①1・2年②3・4年③5・6年)

### 内 容

地球温暖化の原因や影響について理解を深め、地球の未来のために「自分たちにできること」を考える機会とする。  
(実施時間、場所、人数により、実験やワークの有無・数・内容が変わりますので、ご相談ください)

#### 【流れ(共通)】

※年齢に合わせたスライド教材、テキストを使って授業を進めます。

1. 地球は大丈夫？
  - ・今、世界で起きていることを写真で見よう
2. 地球温暖化の原因は？
  - ・便利なくらしを支えているのはなんだろう
  - ・エネルギーをたくさん使うと・・・？
3. 地球温暖化のしくみ
  - ・昔と今と何が違うの？二酸化炭素の性質は？
4. 私たちにできることを考えよう
  - ・家の中でエネルギーをムダにしている？
  - ・わたしたちのできること

#### 【ワーク・実験内容例(学年別)】

- ①レインコート着用実験/カードゲーム/手回し発電体験 等
- ②手回し発電/環境ビンゴ/カードゲーム/二酸化炭素の水溶性実験(講師による提示)/二酸化炭素の影響を色でみる実験(掲示)/ちきゅうと私のやくそく(個人ワーク) 等
- ③環境ビンゴ/雲をつくろう(グループ毎)/二酸化炭素の水溶性実験(提示)/海面上昇実験(提示)/二酸化炭素の影響を色でみる実験(提示)/地球と私の約束(個人ワーク・グループワーク) 等

| 対 象                  | 実施場所     | 所要時間   |
|----------------------|----------|--------|
| 小学生                  | 教室・特別教室等 | 45～90分 |
| ご準備いただくもの            |          |        |
| スクリーン・印刷物(テキスト)      |          |        |
| 主となるグループ名            | 代表者名     |        |
| エコすく(ecology school) | 宮澤 恵子    |        |

No.18

## 環境学習プログラムのテーマ

プラスチックのおはなしと分別体験

### 内 容

現在起こっている地球規模の問題が、身近な生活とつながっていることに気づき、家庭や学校でできる取り組み方法を考える。

①スライド講座「プラスチックごみのはなし」(20分)

- ・身近なプラスチックの特性
- ・プラスチックごみが海に流れ込んでいる現状(写真などで紹介)
- ・プラスチックが海洋汚染につながる理由と、防止のために私たちができること

②クイズ ビンゴ(少人数) (15分)

- ・リサイクルマークなどのクイズ

③分別体験(20分)

- ・家庭ごみを7種類に分類してみる
- ・それぞれがリサイクルされた後どのような姿になるのか紹介する

### 対 象

小学生  
子供会や放課後子ども教室  
など、他学年合同でも可

### 実施場所

教室・会議室・体育館等

### 所要時間

60分

### ご準備いただくもの

スクリーン

### 主となるグループ名

えこすく(ecology school)

### 代表者名

宮澤 恵子

## No.19

### 環境学習プログラムのテーマ

いつもそばで支えてくれる自然環境のはなし

### 内 容

環境問題全般について、複数の視点で講義を行う。  
手や体を動かし、自然を大切にする方法を五感を使って理解する。

【講義】(スライド資料使用) 30分～45分

1. 江南市ってこんなところ  
(1)江南市の豊かな自然 (2)生き物紹介
2. わたしたちと自然  
(1)自然の役割や恵み「なぜ自然は大切なの?」「自然の楽しみ方」  
ワーク①:「きみのやってみたい!」を書こう  
(2)自然をまもるためにできること7(セブン)
3. 未来はどうなるのかな?…人と自然が共に守られる世界(江南市編)
4. まとめ  
(1)SDGsについて「今の地球の困りごと」紹介  
①地球温暖化! ②海がゴミでいっぱい… ③生きものが絶滅しているって本当?  
(2)地球への感謝と未来への希望  
ワーク②:「今日からやってみたいこと」  
「自然の恵みで活かされている私たち」

【体験】15分～40分

※学齢に合わせた教材を用います。

- ・エコロジーカードゲーム(神経衰弱・坊主めくり)(地球温暖化中心)
- ・廃材を使った工作
- ・手回し発電体験(エネルギー)
- ・SDGsボードゲーム(SDGs)3年生以上
- ・二酸化炭素実験(デモのみ)
- ・エコロジービンゴ
- ・「家の中でエネルギーをムダにしていない?」ワーク

| 対 象            | 実施場所        | 所要時間                    |
|----------------|-------------|-------------------------|
| 小学生<br>(学年混在可) | 教室・会議室・公民館等 | 45～90分目安<br>(内容、時間は相談可) |
| ご準備いただくもの      |             |                         |
| スクリーン、筆記用具     |             |                         |
| 主となるグループ名      |             | 代表者名                    |
| 地球温暖化防止活動推進員   |             | 宮澤 恵子                   |

No.20

## 環境学習プログラムのテーマ

廃プラスチックごみを使って万華鏡づくり

## 内 容

生活に欠かせない製品の多くに使われているプラスチックは、石油からできています。ごみとなったプラスチックの一部が、雨や風で運ばれ、川から海に流れて、今問題の海洋汚染の原因となっています。

海洋汚染問題を知ることにより、私たちの生活の中でどんな工夫をしたらプラスチックごみを減らすことができるのかを考えます。

・話(30分)と万華鏡づくり(20～30分)

## 対 象

小学生～一般  
(20名以下)

## 実施場所

教室等

## 所要時間

50～60分

## ご準備いただくもの

万華鏡の材料費

## 主となるグループ名

江南市女性連絡協議会(環境委員会)

## 代表者名

栗本 明美

No.21

## 環境学習プログラムのテーマ

「プロギング」で地球のヒーローに

## 内 容

- ・ジョギングとごみ拾いを合わせた「プロギング」を実施し、街を美化する。
- ・ごみを拾うことで海のプラスチックを減らす。
- ・単なるジョギングより、フィットネス効果が大きい「プロギング」で参加者の健康を保持する。
- ・活動を通じて仲間の輪を拡げる。

## 対 象

小学生～一般

## 実施場所

限定なし

## 所要時間

1時間程度

## ご準備いただくもの

参加者の軍手

## 主となるグループ名

健康支援ローズ・リボン

## 代表者名

鈴木 浩樹

No.22

## 環境学習プログラムのテーマ

廃材活用「コーヒーかすで せっけんづくり」

## 内 容

捨ててしまうコーヒーかすを活用して、コーヒーせっけんをつくる。

コーヒーせっけんづくりと、SDGsに関する講義を行う。  
ごみの減量に繋がるとともに、アップサイクルして生活の中で使用してもらうことで、SDGsへの意識を高める。

## 対 象

小学生～一般

## 実施場所

教室など

## 所要時間

40分

## ご準備いただくもの

電源(電子レンジ使用のため)、材料費300円程度

## 主となるグループ名

Little good

## 代表者名

谷口 郁子

No.23

## 環境学習プログラムのテーマ

### 生きもの集まれ五条川！

- ①講義 川での注意事項と多自然型の川づくりについて。人と生き物の関わりの話  
②実技 川での注意事項を履行し、実際に五条川で植栽を行う。

## 内 容

講義では、生き物がすみやすいよう多自然型の川づくりについて学ぶとともに、川での注意事項をよく聞く。  
実技では、川での注意事項を履行しながら、実際に五条川で植栽を行い、その体験を通して、人と自然が共生できる地域づくりをする。

## 対 象

小学3年～6年生

## 実施場所

①教室等 ②五条川

## 所要時間

①45分 ②90分

## ご準備いただくもの

くつ、着替え、タオル など

## 主となるグループ名

NPO法人 トンボと水辺環境研究所

## 代表者名

川口 邦彦

No.24

## 環境学習プログラムのテーマ

地球環境の話

## 内 容

現在、地球で起こっている様々な環境問題について、子どもたちに知ってもらい、将来に向けて問題意識を持ってもらう。

## 対 象

小学3年～6年生

## 実施場所

教室等

## 所要時間

45分

## ご準備いただくもの

パソコン、プロジェクター、スクリーン、実施前に要相談

## 主となるグループ名

NPO法人 トンボと水辺環境研究所

## 代表者名

川口 邦彦

No.25

## 環境学習プログラムのテーマ

SDGsカードゲームで『持続可能』を体験しよう

### 内 容

ゲームを通じて「持続可能」な社会を疑似体験し、SDGsの基本となる考え方を学ぶ。

SDGs学習ゲーム「Get the Point」(すなばコーポレーション)を用いる。  
資源カードを使ってアイテムをつくり、点数を競うゲーム。  
4人1組で実施(最大40名)

環境学習アドバイザーによる進行で、2回ゲームを行い、「奪い合い競争する世界」と「持続させるために協力する世界」を体験する。

振り返りを含み、以下のことが学習できる。

- ・SDGsで示されている「持続可能な世界」とはどのようなものか？
- ・「持続可能」な社会をつくると、私たちにとってどう良いのか？
- ・「持続可能」な社会をつくっていくために必要なことは？

### 対 象

小学3年生～一般

### 実施場所

教室・会議室等

### 所要時間

各回90～120分

### ご準備いただくもの

スクリーン

### 主となるグループ名

えこすく(ecology school)

### 代表者名

宮澤 恵子

No.26

## 環境学習プログラムのテーマ

買い物の今と昔

### 内 容

- ・寸劇(15分程度)を通して、今と昔(昭和30年代まで)の買い物の違いを知り、ごみ問題を考える。
- ・ごみの分別を学ぶ。
- ・エコライフ生活を学ぶ。
- ・57gのごみ減量を体感する。

### 対 象

小学4～6年生

### 実施場所

教室等

### 所要時間

60分程度(随時対応)

### ご準備いただくもの

机2台

### 主となるグループ名

江南市女性連絡協議会(環境委員会)

### 代表者名

栗本 明美

No.27

## 環境学習プログラムのテーマ

米作りを体験して、お米を食べよう

## 内 容

- ・校内の「田んぼ」で自らの田植、稲刈り、はさ掛けの作業を体験し、食料の大切さを学ぶ。
- ・地産地消の大切さを学び、日本の食料自給率向上に寄与する。
- ・将来の米作り農家の後継者育成に寄与する。

## 対 象

小学4年～6年生

## 実施場所

校内

## 所要時間

45分×2回

## ご準備いただくもの

田んぼ(4㎡程度、形状自由)

## 主となるグループ名

## 代表者名

鈴木 文隆

No.28

## 環境学習プログラムのテーマ

未来の地球を救え！SDGsスーパーマーケットクエスト

## 内 容

<買い物ゲーム>

- ①予算内でテーマ(遠足のお弁当・二人分の夕食など)に合ったメニューを考え、買い物の計画を立てる(20分)
- ②商品を選んで買い物(模擬)をする。(20分)
- ③それぞれの賞品にはポイントがついており、金額計算のあとに、エコポイントの計算をする。  
※商品には金額の他に、エコ度の指標として「エコ認証マーク」「産地(フードマイレージ)」「包装資材」の3つが分かるように記載してある。(10分)
- ④振り返りのあと、「人や自然に寄り沿った選び方」「SDGsゴール12の考え方」を聞く(20分)
- ⑤2回目の買い物チャレンジ。ポイント計算と講義を経た2回目は、人や地球にやさしい視点で買い物ができる。(10分)
- ⑥まとめ

対 象

実施場所

所要時間

小学4～6年生

教室・会議室等

90分

## ご準備いただくもの

スクリーン、長机5台分程度の台(商品を並べる台として)

主となるグループ名

代表者名

えこすく(ecology school)

宮澤 恵子

No.29

## 環境学習プログラムのテーマ

ふろしきでエコバック

### 内 容

- ・一枚の布でできたふろしきを使って、四角いもの、丸いもの等、なんでも包めることを知り、ふろしきの活用方法を学ぶ。
- ・物を大切に作る心を育てる。

### 対 象

小学4年生～一般

### 実施場所

教室等

### 所要時間

45分程度

### ご準備いただくもの

ふろしき

### 主となるグループ名

江南市女性連絡協議会(環境委員会)・エコライフクラブ

### 代表者名

栗本 明美

No.30

## 環境学習プログラムのテーマ

地球温暖化による天気の変化

### 内 容

- ・地球温暖化が進むと天気はどのように変化するのかを知る。
- ・特に、気温変化や雨の降り方の変化を学び、地球温暖化の現実を学ぶ。

導 入:地球温暖化の基礎。

展 開:江南市の気温変化から地球温暖化を知ろう。

発 展:温暖化による雨の降り方の変化(台風など)。

まとめ:私たちの生活を考えよう。

### 対 象

小学5年生

### 実施場所

教室等

### 所要時間

45分程度

### ご準備いただくもの

パソコン、プロジェクター、スクリーン、資料コピー等(詳細は別途要相談)

### 主となるグループ名

愛知県地球温暖化防止活動推進委員

### 代表者名

藤田 泰雄

## No.31

### 環境学習プログラムのテーマ

学ぼう！SDGs ～地球の未来を守るため～

#### 内 容

SDGsという考え方を通して、世界の現状や課題に興味を持ち、自分が世界とつながっていることを意識する

##### 〈基礎〉

1.今、世界で何が起きているの？(クイズ・写真)

- ①学校に行かずに働く子どもたち
- ②食べられない人、食べ物を捨てる人
- ③変化する自然環境
- ④絶滅する動物、植物

2.SDGsとは何？

- ①SDGsはどうしてできたの？
- ②SDGsの17のゴール(抜粋)

##### 〈応用〉

1. 未来はどうなるの？どうしたら世界はもっと良くなるの？

- ①世界や日本の取り組み(国連・政府・企業・市民)
- ②わたしたちのできること(取り組みのアドバイス)

2.私のしたいこと(ワーク)

##### 〈グループワーク・発表・講評〉

発表に向けてのアドバイス等

(時期や対象によって、時間や内容の変更が可能です)

| 対 象             | 実施場所            | 所要時間  |
|-----------------|-----------------|---|
| 小学4～6年生         | 教室等(クラス単位が望ましい) | 45分～90分(1～3回)<br>①基礎 ②応用<br>③グループワーク<br>・発表・講評等 |
| ご準備いただくもの       |                 |   |
| 印刷資料 スクリーン      |                 |   |
| 主となるグループ名       |                 | 代表者名  |
| 愛知県地球温暖化防止活動推進員 |                 | 宮澤 恵子   |

No.32

## 環境学習プログラムのテーマ

「環境家計簿」普及プロジェクト

### 内 容

- ・「環境家計簿」に多くの市民が取り組んでいただけるよう、日常生活で排出される二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出量を算出することで、地球への負荷・影響を認識してもらい、また、エネルギー資源の節約と環境に配慮したライフスタイルの実践に取り組む。
- ・環境家計簿の記録の仕方。
- ・電気・ガス・水道・ガソリン等主な消費材伝票の整理。
- ・次期に向けた省エネ・省資源の家計の数値目標の取り組み。
- ・環境保全に向けた日常活動の推進と実践等。

### 対 象

小学5・6年生～一般

### 実施場所

市内の施設等

### 所要時間

60分程度(随時対応)

### ご準備いただくもの

なし

### 主となるグループ名

NPO法人 まゆを育てる会・愛知県地球温暖化防止活動推進委員

### 代表者名

藤田 泰雄

No.33

## 環境学習プログラムのテーマ

将来のエネルギーを考えよう！

## 内 容

・地球温暖化が進むと日本にどんな影響が及ぶのかを知り、私たちの暮らしから電気の使い方を考え、将来のエネルギーについて考える。

導 入:地球温暖化による影響。

展 開:江南市の気温変化から地球温暖化を知ろう。

発 展:将来のエネルギーを考えてみよう。

まとめ:私たちの生活を考えよう。

## 対 象

小学6年生

## 実施場所

教室等

## 所要時間

45分程度

## ご準備いただくもの

パソコン、プロジェクター、スクリーン、資料コピー等(詳細は別途要相談)

## 主となるグループ名

愛知県地球温暖化防止活動推進委員

## 代表者名

藤田 泰雄

## No.34

### 環境学習プログラムのテーマ

私たちの暮らしとつながるSDGs  
～世界の課題を知り、未来を考える～

### 内 容

SDGsの基本を学び、世界や日本で起きている環境・社会課題を知ることで、自分たちの生活や行動とのつながりに気づき、「自分にもできること」を考える力を育てる。

※学年・人数・授業時間に応じて調整可能

①導入：今、世界で起きていること(写真資料)

貧困・飢餓・地球温暖化・児童労働・公害・環境問題

→「遠い世界の話」ではなく、身近な問題として考えるきっかけづくり

②SDGsとは何か

- ・SDGsの意味と目的
- ・生まれた背景(なぜ今、SDGsが必要なのか)
- ・17の目標の紹介(抜粋)

③世界と日本の現状(進み具合・課題)

- ・実際の取り組み事例の紹介(国内・身近な例)
- (任意のテーマを2つ程度取り上げる)

④自分たちとのつながりを考える

- ・ゴール(社会の課題)はつながっている
- ・私たちの暮らしとのつながりを考える
- ・ワーク「未来のために今できること」  
17のゴールの中から「大切だと思うもの」を選び、理由を言葉にする  
今の自分たちにできる行動や、続けられるアイデアを出す  
(個人・グループワーク対応可)

### 対 象

中学生

### 実施場所

教室等

### 所要時間

50～100分

### ご準備いただくもの

スクリーン・配布資料

### 主となるグループ名

愛知県地球温暖化防止活動推進員

### 代表者名

宮澤 恵子

## No.35

### 環境学習プログラムのテーマ

SDGsスーパーマーケットクエスト  
～消費者の立場から取り組むSDGs～

### 内 容

<消費者としての日々の取り組みを考える買い物ワークショップ講座>

1.講義「消費者の立場から考えるSDGs」(30分)

①「日本の消費の問題点」・・・食料自給率・フードマイレージ

②「大量生産・対象消費・大量廃棄」という現在の先進国の傾向に目を向け、それによる現象や対策などを講義形式で学ぶ。

2.ワーク「SDGsスーパーマーケットクエスト」(60分)

①与えられた予算内でテーマに沿った商品を選んで買い物(模擬)をするゲーム。

②それぞれの指標にはエコポイントがついており、金額計算だけでなく、エコポイントを計算する。

※商品には金額の他に、エコ度の指標として「エコ認証マーク」「産地(フードマイレージ)」

「包装資材」の3つが分かるように記載してある。

③計算、振り返りのあと、上記1の講義を行う。

④2回目のチャレンジ。1回目は事前のアドバイスはないが、ポイント計算と講義を経た2回目は、社会や地球にやさしい視点で買い物ができる。

### 対 象

中学生～一般

### 実施場所

教室・会議室等

### 所要時間

90分

### ご準備いただくもの

スクリーン、長机5台程度(ワーク用)

### 主となるグループ名

えこすく(ecology school)

### 代表者名

宮澤 恵子

No.36

## 環境学習プログラムのテーマ

大気環境の汚染防止に向けた環境保全を考えよう！

### 内 容

- ・大気環境の汚染が人間の生活環境の悪化に大きな影響を及ぼし初めて150年余の間、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の増加は290PPMから390PPMへと、人間社会が活動はじめて二万年、わずか150年で100PPM増加しており、それに追い討ちをかける原子力発電災害(福島原発)による大気汚染、この事故による負の遺産は次の世代に一万年かけても消すことのできない事実を受け止め、事故により大気に放出された放射能(放射線)について、何が正しいのかたくさんの情報が溢れるなかで、自分としての考えを理解し、他人の言葉に押し流されることなく判断するため、放射線(放射能)についての初歩的な知識を学ぶ。

### 対 象

中学生・高校生～一般

### 実施場所

市内の施設等

### 所要時間

120分程度(随時対応)

### ご準備いただくもの

パソコン、プロジェクター、スクリーン、資料コピー等(詳細は別途要相談)

### 主となるグループ名

愛知県地球温暖化防止活動推進委員

### 代表者名

藤田 泰雄

No.37

## 環境学習プログラムのテーマ

キッチンからはじめるSDGs  
～人と地球にやさしいアイデア集～

SDGsをむずかしく考えるのではなく、毎日の食事や買い物など、身近な「キッチン」から考える講座です。写真やクイズを交えながら、今、世界で起きていることや、私たちの暮らしとのつながりを知り、消費者・生活者としてできる小さな工夫や選択について考えます。

〈講義＋ワーク〉

- ・写真やクイズを通して、今の世界や環境のことを知る
- ・SDGsの基本と、毎日の暮らしとのつながりを学ぶ
- ・商品の選び方や食品ロスなど、キッチンでできるエコな工夫を紹介
- ・ワーク「お弁当は世界とつながっている」を通して、日常の選択を見直す

※特別な知識は不要です。SDGsが初めての方でも参加しやすい内容です

対 象

一般

実施場所

研修室・公民館等

所要時間

60～90分

ご準備いただくもの

スクリーン

主となるグループ名

えこすく(ecology school)

講師

宮澤 恵子

No.38

## 環境学習プログラムのテーマ

キッチンからはじめるエコな暮らし  
～みつろうエコラップをつくろう～

## 内 容

SDGsをむずかしく考えるのではなく、毎日の暮らしの中でできることを、キッチンを中心に楽しく学びます。身近な消費や選択が、環境や社会につながっていることを知り、家庭で無理なく続けられるエコな工夫を紹介します。

後半は、自然にやさしい素材を使ったみつろうエコラップ作りを体験し、「作って・使って・続ける」エコを実感していただきます。

〈ミニ講座＋体験〉

1. SDGsってなに？暮らしとどうつながっているの？
2. 毎日の買い物や使い方で、私たちにできること
3. キッチンから始める、かんたんエコアイデア紹介
4. みつろうエコラップづくり体験

※環境講座が初めての方でも参加しやすい内容です

## 対 象

一般(15名まで)

## 実施場所

セミナー室・工作室など  
(アイロンが使えるところ)

## 所要時間

65～90分  
(参加人数により、無理のない範囲で調整します)

## ご準備いただくもの

投影用スクリーン・アイロン1台・材料費(400円/名)

## 主となるグループ名

えこすく(ecology school)

## 代表者名

宮澤 恵子